

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.16
平成26年11月7日

友達とても大切な存在

中日新聞の投書欄（発言ヤング）に名古屋市の12歳の小学生西下 優里さんの作文が掲載されていました。「**友達の大切さ、友達はかけがえのない存在であること**」を私たちに教えてくれています。桜小学校の児童も、「心の中で強く結びついている友達」「気持ちを分かり合える友達」をつくり、その友達のおかげで学校生活が楽しいと思えるような親友ができることを願っています。

先月実施した「心のなやみアンケート」の集計結果をみると、「友達から嫌なことをされたことがありますか」という項目で、「ある」と回答した児童は、1学期の半数以下に激減しました。その数は0ではありませんが、全体の約7%弱になっています。

これは、本校の道徳教育、学校行事・学年行事、異学年交流、家庭教育等々、様々な取り組みの成果が出てきているのではないかと思います。

今後は、円滑な交友関係はもとより、大切にかけがえのない存在としての友達づくり、交友関係づくりができる児童を育てるために取り組みを継続していきたいと考えます。

友達はかけがえのない存在だと私は思います。

私たちは学校でたった一人きりだと、なにも楽しくありません。学校生活が楽しくなるのは友達のおかげです。私たち人間は、一緒に泣いたり、笑ったりできる人が必要だと思います。

私にも、よく遊ぶようになった友達がいます。その友達と笑い合ったり、一緒に悲しい気分になったりしています。時にはけんかをする但也有りますが、その友達のおかげで、学校が毎日楽しいです。

私は、学校で一人で見ると、自然にしゃべりかけています。なぜなら、その子にも友達と過ごす楽しさを味わってもらいたいからです。

どんなにけんかをして、大切な親友や友達は心の中で強く結び付いていると思います。私は、これからは気持ちを分かち合える友達をつくっていきたいと思います。みんなも、そんな親友や友達に出会ってほしいです。

西下 優里小学生（名古屋市中川区）12歳

全校朝礼の話ー11/4（火）

『ドン・キホーテ』という物語を作った人の言葉に、『**「そのうちやる」という名の通りを歩いて行き、行き着くところは「なにもしない」という名札のかかった家である**』という言葉を残しています。

似たようなテーマで、他の人も名言を残しています。「明日できることは今日するな」「今日できることを明日に延ばすな」などがあります。

いったい、どの言葉に従ったらよいのだと迷うかもしれません。一見、反対のことを言っていると思われるかも知れません。しかし、これらの言葉の中には、実は、すべて同じテーマが隠れています。

それは、『**やらなければいけないときに、やりなさい**』というものです。あたり前のようですが、これは案外、実現できていないことではないでしょうか。

とくに、急ぎの課題や宿題でない場合、「あとでいいか」「明日でいいか」「週明けでいいか」と、先送りしているうちに、「**そういえば、忘れていた**」と失敗した経験がある人も多いでしょう。

最初は、まだまだ提出日まで時間が十分あると思っていたのに、いつの間にか提出日が迫り、最終的には徹夜続きでお家の人に手伝ってもらって、やっとの思い出で課題・宿題をやったという苦い経験がある人はいませんか。

すべての物事に対し、いつやるのが一番いいのかを考えながら計画を立ててください。たとえば、「これは、今日中にやる」「これは、明日やる」「これは、来週までにやる」というように、しっかり計画を立てて、自分自身にはっきりと言い聞かせるようにしてください。

その日、そのときに『**「どういう順番でやっていくか**』を決め、「そのうちやる」ではなく、具体的に「いつやる」というのを決めて、やるようにしましょう。そして、それは、『**その日に必ずやる**』という自分自身への誓いであることを忘れないでください。